

跳跳蛙
日语读库



にほんご よむよむ文庫

Vol.1 2 ② もも た ろう 桃太郎



NPO法人 日本語多読研究会 主编
(日) 小田 正子 改编
官前 康彦 插图

レベル別 日本語多読 ライブラリー

にほんご よむよむ文庫

Vol.1 **2** (2)

もも た ろう
桃太郎

音声CD入り

ある日、おばあさんが川で洗濯
をしていると、大きな桃が流れて
きました。その大きな桃を切っ
てみると……。

日本の有名な昔話です。

にほんご よむよむ文庫



これは、日本語を勉強している人のための「読みもの」シリーズです。4レベルに分かれていて、昔話、創作、名作、伝記などいろいろな話があります。レベルごとに言葉や文法が制限されていて、読みやすく書かれています。漢字には全てひらがなが付いていますから、辞書を引かないでどんどん読んでみましょう。

レベル	クラス	語彙数	文字数／1話
1	初級前半	350	400 ～ 1500
2	初級後半	500	1500 ～ 2500
3	初中級	800	2500 ～ 5000
4	中級	1300	5000 ～ 10000

跳跳蛙
日语读库



にほんご よむよむ文庫

Vol.1 2 ② 桃太郎

NPO法人 日本語多読研究会 主编

(日) 小田 正子 改编

宫前 康彦 插图

外语教学与研究出版社
北京

京权图字: 01 - 2008 - 1937

© Originally Published by ASK Co., Ltd., Tokyo Japan

图书在版编目(CIP)数据

跳跳蛙日语读库. Vol. 1. 2② / 日本NPO法人日本語多读研究会主编. — 北京:
外语教学与研究出版社, 2008.5

ISBN 978 - 7 - 5600 - 7521 - 1

I. 跳… II. 日… III. 日语—自学参考资料 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2008) 第 064630 号

出 版 人: 于春迟

责任编辑: 唐晓艳

装帧设计: 王 军

出版发行: 外语教学与研究出版社

社 址: 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址: <http://www.fltrp.com>

印 刷: 北京国邦印刷有限责任公司

开 本: 880 × 1230 1/32

印 张: 0.875

版 次: 2008 年 7 月第 1 版 2008 年 7 月第 1 次印刷

书 号: ISBN 978 - 7 - 5600 - 7521 - 1

定 价: 27.90 元 (全五册)

* * *

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话: (010)88817519

物料号: 175210001

日本語を勉強しているみなさんへ

「にほんごよむよむ文庫」は、

日本語を勉強しているみなさんのための「読みもの」シリーズです。

楽しみながらたくさん読んでください。

わかるものをたくさん読むと、知らないうちに漢字の読み方や言葉が身につきます。
読んだ話をCDでも聴いてみてください。読みながら聴いてもいいでしょう。

目からも耳からもどんどん日本語を吸収しましょう！

「にほんごよむよむ文庫」4つのルール

- 1 やさしいレベルから読む。
- 2 辞書を引かないで読む。
- 3 わからないところは飛ばして読む。
- 4 進まなくなったら、他の本を読む。

あるところに、おじいさんとおばあさんが住^すんでいました。

おじいさんは、毎日^{まいにち}、山^{やま}へ木^きの枝^{えだ}をとりに行^いきました。

おばあさんは、川^{かわ}へ洗濯^{せんたく}に行^いきました。

ある日^ひ、おばあさんが川^{かわ}で洗濯^{せんたく}をしていると、

「どんぶらこ、どんぶらこ」と、

とても大きな桃^{もも}が流^{なが}れてきました。

おばあさんは、びっくりして言^いいました。

「ありやまあ、大きな桃^{もも}だ。持^もって帰^{かえ}って、おじいさんと一^{いっしょ}緒^{しょ}に食^たべましょう」

そして、桃^{もも}を家^{いえ}へ持^もって帰^{かえ}りました。



夜よるになりました。

山やまからおじいさんが帰かえってきました。

おばあさんは、

「おじいさん、見みてください。」

大きな桃ももでしょう」

と言いいました。

「わあ、本ほん当とうに大おおきな桃ももだ」

おじいさんは喜よろこびました。

おばあさんは、

「さあ、おじいさん、一いっしよ緒とに食たべましよう」

と言いって、桃ももを切きりました。





すると、桃ももの中なかから

かわいい男おとこの子こがででてきました。

おじいさんとおばあさんは、

とてもびつくりしました。

「わっ！ 桃ももから子こどもがででてきた！」

「元気な男げんき おとこの子こだ！」

ふたり
二人には子こどもがいいませんでした。

だから、二人はとてふたりも喜よろこびました。

おじいさんはいいいました。

「この子こは桃ももから生うまれたから、

なまえ
名前は『桃太郎』だ」

桃太郎は、おじいさんとおばあさんの

子どもになりました。

桃太郎は、ご飯をたくさん食べて、

大きくなりました。

そして、とても強くなりました。

その頃、村に悪い鬼たちが来て、

村の人たちのお金や大切なものを

とっていきました。

村の人たちは、とても困っていました。

この鬼たちは、鬼ヶ島に住んでいました。

ある日、桃太郎は、



おじいさんとおばあさんに言いました。

「おじいさん、おばあさん、私はもう子どもじゃありません。

鬼ヶ島へ行って、鬼と戦います。

そして、鬼がとつたものを返してもらいます」

おじいさんとおばあさんは、言いました。

「危ないから、やめなさい」

でも、桃太郎は、

「大丈夫です」

と、何回も言いました。

おじいさんとおばあさんは、

「そうか。それでは行ってきなさい」

と言いました。



おばあさんは、きびだんごをたくさん作りました。

おじいさんは、旗を作つて、

その旗に「日本一」と書きました。

桃太郎は、きびだんごと旗をもらつて、

「おじいさん、おばあさん、ありがとうございます。」

では、行つてきます」

と言いました。そして、元気に歩き始めました。

少し歩きました。

すると、犬が、

「ワン、ワン」

と、走つてきました。





いぬ ももたろう き
犬は桃太郎に聞きました。

ももたろう

なん

「桃太郎さん、桃太郎さん、それは何ですか」

ももたろう こた

桃太郎は答えました。

「これは、とてもおいしいきびだんごだよ」

ひと

「一つください」

「いいよ、あげるよ」

ももたろう

いぬ

桃太郎は、犬にきびだんごをあげました。

わたし

おにがしま

「私は、これから鬼ヶ島へ行くよ。」

そして、

おに たたか

鬼と戦うんだ」

わん

わん

わたし いっしょ い

「ワン、ワン。じゃあ、私も一緒に行きます！」



桃太郎は犬いぬを連れて、また少しすこ歩あるきました。

すると、猿さるが、

「キヤツ、キヤツ」

と、出でてきました。

「桃太郎さん、桃太郎さん、それは何なんですか」

「これは、とてもおいしいきびだんごだよ」

「一つください」

「いいよ、あげるよ」

桃太郎は、猿さるにきびだんごをあげました。

「私は、これから鬼ヶ島おにがしまへ行くよ。そして、鬼と戦たたかうんだ」

「キヤツ、キヤツ。じゃあ、私も一緒いっしょに行きます！」



ももたろう いぬ さる つ
桃太郎は、犬と猿を連れて、また少し歩きました。

すると、きじが、

けーん けーん
「ケーン、ケーン」

と、飛んできました。

ももたろう

「桃太郎さん、桃太郎さん、それは何ですか」

ももたろう

「これは、とてもおいしいきびだんごだよ」

ひと

「二つください」

「いいよ、あげるよ」

ももたろう

桃太郎は、きじにきびだんごをあげました。

わたし

「私は、これから鬼ヶ島へ行くよ。そして、鬼と戦うんだ」

おにがしま

い

おに

たたか



「ケーン、ケーン。」
けーん けーん

じゃあ、私も一緒にいきます！」
わたし いっしょ

おにがしま お
鬼ヶ島は、遠くにあります。

ももたろう いぬ さる
桃太郎と犬、猿、きじは、疲れると、
つか

きびだんごを食べて、また歩きました。
た ある

